

2018/04/13

アラル海地域研究関係者会議

概要

本会議はカザフスタン及びウズベキスタンにまたがるアラル海とその周辺地域に係る学術研究のさらなる促進と連携を目的としています。参加者の各分野における方針及び重点的に連携してゆく研究課題を明確にし、①重点課題に対する共同研究と成果発表の方針、②新たな研究従事者（学生・若手も含む）や海外研究者、現地協力者との連携、③定期的な情報共有の機会の設置、といった具体的な計画に繋がる議論の場となることを期待しております。

会議は二つのセッションで構成されます。初めのセッションでは参加者の皆様からこれまでの研究と今後の方針についての簡単な紹介を頂き、その後セッション2においては、上記の議題について全体の戦略会議を行います。

日時

2018年4月21日（土） 14:00—18:15

会場

国立民族学博物館内4階 大演習室

タイムテーブル

時間	内容	進行役・発表者（敬称略）
14:00—14:05	開会の挨拶	松井佳世
セッション1：研究紹介：14:05—16:00		
14:05—14:15	アラル海地域研究の現状と今後の方向性：国際共同研究の可能性を視野に入れながら	地田徹朗
14:15—14:25	衛星画像の比較判読に基づくアラル海流域集落の景観変遷	渡邊三津子
14:25—14:35	アラル海周辺の牧畜	今村薫
14:35—14:45	カザフスタンアラル地域カラテレンの生活	八木風輝
14:45—14:55	持続可能な社会構築の担い手育成—アラル海調査を通して—	井田仁康、荒井正剛
14:55—15:15	質疑応答・ディスカッション	進行役：松井佳世

休憩 15分 15:15—15:30

15:30-15:40	旧ソ連崩壊後の中央アジアにおける水資源ガバナンス	齋藤竜太
15:40-15:50	アラル海の水質・生物学研究と、今後のアラル海流域での節水型農業について	川端良子
15:50-16:00	中央アジアにおける気候変動の緩和策・適応策とは？	甲山治
16:00-16:10	キルギスの氷河観測	田中賢治
16:10-16:20	陸域水循環モデルを用いた全球内陸湖の環境影響評価	峠嘉哉
16:20-16:30	アラル海流域における水力発電を巡る国家関係の変容	稲垣文昭
16:30-16:40	アラル海地域の研究テーマについて	松井佳世
16:40-17:00	質疑応答・ディスカッション	進行役：松井佳世
セッション2：戦略会議：17:00-18:15		
17:00-17:20	・重点課題に対する共同研究と成果発表	進行役：齋藤竜太
休憩 20分 17:20-17:40		
17:40-18:10	・海外研究者/現地協力者との連携 ・情報共有の機会について	進行役：松井佳世
18:10-18:15	閉会の挨拶	松井佳世

参加者(50音順、敬称略)

荒井正剛 東京学芸大学 人文社会科学系
 井田仁康 筑波大学 人間系教育学域
 稲垣文昭 秋田大学大学院 国際資源学研究科
 今村薫 名古屋学院大学 現代社会学部
 辛嶋善博 北東アジア地域研究国立民族学博物館拠点
 川端良子 東京農工大学 農学研究院
 甲山治 京都大学 東南アジア地域研究所
 齋藤竜太 在キルギス日本大使館

2018/04/13

田中賢治	京都大学防災研究所
地田徹朗	名古屋外国語大学 世界共生学部
峠嘉哉	東北大学大学院工学研究科
松井佳世	京都大学 東南アジア地域研究所
八木風輝	総合研究大学院大学(国立民族学博物館)
渡邊三津子	奈良女子大学・共生科学研究センター